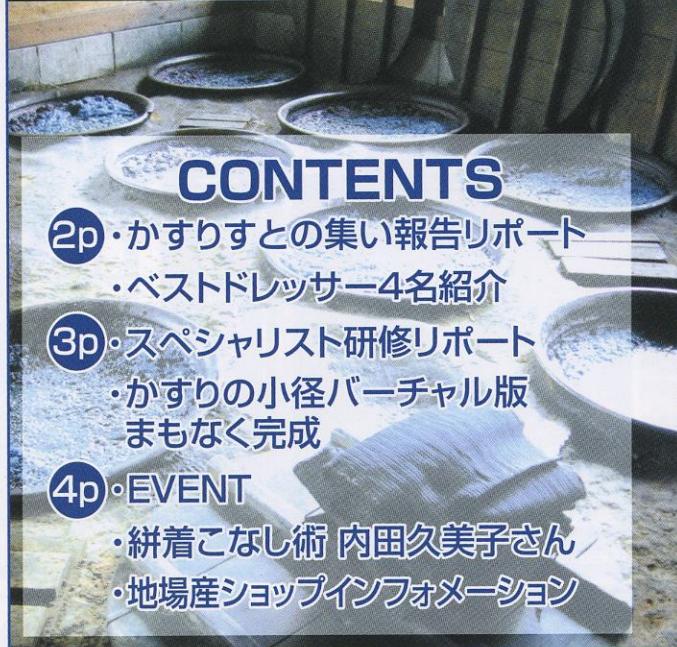


かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



かすりの奥義を 「括り」に見た

木綿糸を束ね、さらに幾筋もの束に規則正しく括り糸を仕掛けていく。絵糸書きで表されたかすりの設計図を見ながらかすりの緯糸は、その織り上がった時のイメージを描きながら微妙なニュアンスと長年の感覚で括られていく。表紙の写真是6月末にかすりスペシャリストさん達と研修のために訪れた筑後市にある桑野くくり屋さんの工房での括りの様子です。機械による括りとはいえ、その動きは手の延長のようなもの。この道50年の桑野好未さんは、絵糸書きされた設計図を見ながら、一見単純に見える作業の繰り返しじつとやそつとでは真似できないかすりの奥義を見た想いがしました。

久留米かすりを縁の下から支える「括り屋」、その繊細にして、緻密な手業、そして織り手の感性を表現する「括り」は久留米かすりには欠かせない存在です。

かすりすとの集い
リポート

第1回「かすりに出会いよかつた」7月15日(土)地場産くるめにて 「かすりすとの集い」開催!

かすりすと名譽会長
江藤守國市長のあいさつ

「かすりすと」の初めての
集まりが去る7月15日(土)、
地場産くるめ2階ホールで
開催されました。

この3月から募集を始め
た、かすりすとは現在
510名の登録をいたい

ています。今回のかすりす
との集いにはその中から

82名)のご参加をいただき
ました。参加者の中には遠
く鹿児島、長崎からもご参
加いただいていました。

冒頭、地場産くるめの馬
田博理事長より挨拶があり、
つづいてかすりすとの名譽

会長でもある江藤守國久
留米市長から、久留米の伝
統産業である久留米紺、そ
の応援団とも言うべき「か
すりすと」の皆さんへの期
待を込めてご挨拶をいただ
きました。

日本三大酒どころの久
留米の地酒による乾杯があ
り、特製のかすりの松花堂
弁当を頂きながらの歓談は
久留米ならではの「ほとめぎ」
ですね。

今回のメインのイベントで
もあるファッションショーは参
加者からベストドレッサーを
決めようというもの。各テ
ーブル毎に参加者の紺の着
物洋服・バッグなど個性豊
かなファッショントを司会がパ
フォーマンスを交えて紹介し、
会場は大いに盛り上がりま
した。皆さんの色んな柄色
の紺を見て、やはり紺は年
齢や性別に関係なく着ら
れる服だと改めて感じさせ
られました。つづいて思い出
のかすり展に出品頂いた3
名の方へのインタビュー、そし
て「バーチャル版かすりの小
径」を映像で紹介しました。
また、かすりすとのお世話
役や案内役として研修を
受けた頂いたスペシャリスト
の皆さんをご紹介、皆さん
に抱負を述べて頂きました。
宴もたけなわになった頃、
参加者の投票で選ばれた
本日のベストドレッサー賞が
発表され、記念品が渡され
ました。

最後の抽選会も大いに盛
り上がり、約2時間があつ
た。という間に過ぎ、参加者の皆
様からは、参加してよかつた
という多くの声をいただきました。



加者からベストドレッサーを
決めようというもの。各テ
ーブル毎に参加者の紺の着
物洋服・バッグなど個性豊
かなファッショントを司会がパ
フォーマンスを交えて紹介し、
会場は大いに盛り上がりま
した。皆さんの色んな柄色
の紺を見て、やはり紺は年
齢や性別に関係なく着ら
れる服だと改めて感じさせ
られました。つづいて思い出
のかすり展に出品頂いた3
名の方へのインタビュー、そし
て「バーチャル版かすりの小
径」を映像で紹介しました。
また、かすりすとのお世話
役や案内役として研修を
受けた頂いたスペシャリスト
の皆さんをご紹介、皆さん
に抱負を述べて頂きました。
宴もたけなわになった頃、
参加者の投票で選ばれた
本日のベストドレッサー賞が
発表され、記念品が渡され
ました。

最後の抽選会も大いに盛
り上がり、約2時間があつ
た。という間に過ぎ、参加者の皆
様からは、参加してよかつた
という多くの声をいただきました。

「思ひ出の紺」展
今日は3人の方が思い出の紺をご持参
いただき、その思い出と共にご紹介頂きました。



紺ベストドレッサー賞決定

それぞれにご自分の思い入れのある
紺を自信を持って身につけておられ、と
てもお似合いでした。



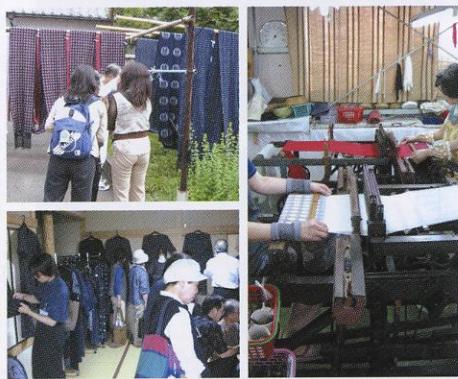
井村敏代さん

木下繁代さん



姫野八重子さん





かすりすと研修日記

明があり、11時からは久留米市田主丸町在住の絹作家・松枝哲也さんによる「久留米絹の歴史とその背景」についての講義でした。講義では、8世紀奈良時代から日本に入ってきた木綿の歴史など絹にまつわるお話を興味深く听了しました。

か

チングしながら歩きました
残る久留米からゆか
雪武倉庫跡では倉庫の威厳
の重みを感じながら、出来事の
かすりの資料館みたい

た。また日吉
のりの煉瓦造り
が、古嚴と風格に歴
るなら後世
手のげ
いなモノができ

研修

景です。野村織物を見学、自宅兼ぎで、紺の反物やキモノの生産地の現場は普段見られないものばかりで、皆さんのご協力で無事になりました。お疲れ

このあと広川町にある、山村健藍染紡工房
の、ある作業場や、
見せて頂きました。
段ではなかなか見られ
ましたが、括り屋さんや織
糸事2日間の研修が終
しました。



「かすりの小径」公開中

(試作品)

バー チャル 映像
「かすりの小径」
公開中 (試作品)

イベントインフォメーション



筑後よかもん俱楽部

8月 古典への誘い～幻の男紺と華やぎの女紺～8/2(水)～8/31(木)

・文人、龜甲、あられ紺など幻の男紺の古布の着物を集めてみました。着物と帯を組み合わせて、華やぎの女紺の共演をお楽しみ下さい。

男の美学と女の浪漫 9月1日(金)～9月30日(土)

・藍染着物とくつろぎセットで秋の夜を満喫しませんか! 羽織と着物と帯で浪漫はあなたのものになる。



地場産くるめ いい日地場産の日

とき 9月11日(月)10時～17時

ところ 地場産くるめ2F(久留米市東合川5-8-5)

久留米紺・特産品全品11%OFF(酒類除く)

手作り体験教室 毎月先着60名様を対象に久留米かすりを使った小物作りやアクセサリー作り教室を開催いたします。参加料は500円(予定)です。

特産品コーナー ミニミニ紺コーナーでは紺業者による展示即売会、久留米特産のお菓子、季節の新鮮野菜や手作りパンの販売会などその日限りの美味しいイベントが盛りだくさんです。

〈お問い合わせ〉TEL.0942-44-3700



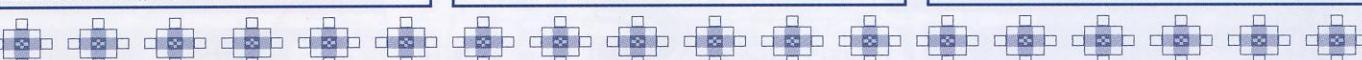
第16回 広川町かすり祭

とき 9月2日(土)・3日(日)9時～17時

ところ 広川町産業展示会館

久留米紺のすべてを知る大イベント!マ広川町の織元たちが魅力をあげて新しい魅力づくりに挑戦した新風「久留米紺展」マワンピース・シャツなどの洋服、バッグ、反物はざれなどの久留米紺を展示、格安にて即売する「紺展示即売会場」マ紺のオーダーメイドコーナーマ第14回久留米紺創意工夫展出品作品の展示など盛りだくさんです。両日の午後3時からは久留米紺をはじめ地元特産品のお楽しみ抽選会があります。また、逆瀧ゴットン館水車まつりも同時開催。楽しさいっぱいですよ!

〈お問い合わせ〉TEL.0943-32-5555



自己流で自由な発想でデザイン 着こなし術

山村健藍染紺工房や野村織物の紺による、創作服の一例
(ほとんどこれらの服は内田さんの手元にはない)

紺との出会いは昭和50年。結婚して久留米に来てから。以来、紺の虜に。「私は洋裁の基礎もありませんし、すべて自己流です。身近にあった着物や紺を洋服にし始めたのがスタートです。着物地や藍染めなどはよく使います。紺の良さはあの特有の柄もさることながら、あの小幅の織物の良さ。それを最大限に引き出したい、そして試してみたい、そういう気持ちで色々なモノをつづっています。一時期あのベトナムのアオザイに凝ったことがあります。とても良いんですよ!デザイン的には紺で着心地の良い、簡単に着られるキモノを創りたいですね。」内田さんは現在、織元さんとのタイアップで、ギャラリーやデパート等での出展・製作に励んでいらっしゃる。

手作り創作服 内田

久留米市国分町1373-1

TEL.0942-21-8666

至久留米市街

国西国分小学校

国道3号線

JR久太線

足形地

一丁田久留米停車場線

至八女

至丁田

至八女

地場産くるめSHOP INFORMATION 紺の装い プラス アクセサリー・小物

紺の服にはどんなアクセサリー・小物が似合うの?こんなお話をよく伺います。紺は独特の柄を活かして着こなしたいですね。相性がいいのは同じ素材の紺よりも籠胎、酒袋、ブドウの蔓などを素材に使った小物。

アクセサリーは木彫・トンボ玉はいかがでしょう。お気に入りを見つけて地場産くるめまでお出かけになりませんか!

TEL.(0942)44-3700

FAX.(0942)43-1020

HP. <http://www.kttnet.co.jp/jibasan> ※即売コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

ふるさとは、頑張り屋です!
地場産くるめ
財団法人久留米地域地場産業振興センター

4